

事業番号	08 03 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	インバウンド戦略推進事業	部局	観光部	課・室	国際観光推進室
		実施期間	H14 ~	E-mail	go-nagano@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加				
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり				

1 現状と課題

目指す姿	外国人旅行者の「滞在日数の長期化」、「消費単価の向上」、「リピーターの獲得」を図るため、(一社)長野県観光機構(地域連携DMO)を中心に、マーケティングに基づく戦略的なプロモーション及び商品造成を実施するとともに、外国人旅行者がストレスなく、安全・安心・快適に観光を満喫できる環境整備を推進する。	
これまでの取組	1 中国など重点市場に対しプロモーションを実施 2 アドベンチャーリズム(AT)商品の造成及びガイド養成を実施 3 県内周遊フリーバスを販売 4 キャッシュレス決済、無料Wi-Fiなどの受入環境の整備 5 長野県インバウンド推進協議会と連携し、民間主導により官民を挙げた「オール長野」によるインバウンド施策を展開するための体制を整備	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種の進展などにより、今後、外国人旅行者に対する水際対策が段階的に緩和されると予測 外国人旅行者に安全・安心を提供する感染症対策が不可欠 量(宿泊者数)から質(観光消費額)への段階的な転換 コロナ禍を経験したことによる旅行者の行動や意識変化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者に対し長野県の感染症対策などの情報を発信 滞在日数の長期化、消費単価の向上、リピーターの獲得を意識したコンテンツの磨き上げや商品造成を実施 コロナ禍で「新たな価値観」や「新たな生活習慣」が広がり、「デジタル化」が進んだ点を踏まえ、デジタルを中心にプロモーションを実施

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	1 Afterコロナを見据えた受入環境の整備 (1)Wi-Fi環境、多言語案内板の整備を支援(HAKUBAVALLEY重点支援)【山岳高原観光課予算計上】 (2)24時間・19言語対応の「NAGANO多言語コールセンター」の運営 2 訴求力の高い体験型観光コンテンツの造成 (1)アドベンチャーリズム(AT)基準に基づくガイドを養成 (2)AT商品の造成及び販売 3 二次交通の利便性向上による県内周遊の促進 (1)観光バス路線の経路検索サービスの充実を図るため、事業者が実施するデータ整備(バス停の位置情報、時刻表の入力等)を支援 4 インバウンド再開を見据えたプロモーションの実施 (1)中国スキー愛好家などを対象としたハイブリッド形式によるスキー説明会を開催 (2)英国・米国・豪州の旅行会社を対象としたオンラインセミナーを開催 (3)「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット(ATWS) スイス」へ出席
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】観光バス路線の認知と利便性向上のための環境整備を支援

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度		R3年度	R4年度	
1	外国人延べ宿泊者数(暦年)	万人	157.8	▽	52.7	▽	7.0	300	前年度繰越			要求	66,867
2									当初予算	95,305	65,373	予算案	
3									補正予算	-25,997	0		
4									合計(A)	69,308	65,373	要求	66,867
5									うち一般財源	65,363	65,373	予算案	64,607
									決算額(B)	67,912			
									職員数(人)	3.0	3.0		3.0
設定理由	成果指標	1.日帰り旅行より宿泊旅行の方が県内経済に与える影響が大きいと考えられることから、外国人旅行者の来県による経済効果を量る目安として、観光庁が全国規模で実施し、信頼性の高い宿泊旅行統計調査の外国人延べ宿泊者数(暦年)を成果指標として設定した。											
	目標値	1.「信州の観光新時代を拓く長野県観光戦略2018」において、2022年の外国人延べ宿泊者数の目標を300万人としている。											

事業名	インバウンド戦略推進事業	部局	観光部	課・室	国際観光推進室
-----	--------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	インバウンド誘致促進事業	71,858 千円	51,452 千円	要求 49,793 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	(一社)長野県観光機構が中心となり実施する海外からの誘客プロモーション	負担金	(一社)長野県観光機構が中心となり、オンラインセミナー、オンライン商談会、海外メディアの招請などの誘客プロモーションを実施 負担先:(一社)長野県観光機構	
2	各種団体との連携による海外からの誘客プロモーション	負担金	広域連携DMOである(一社)中央日本総合観光機構などとの連携による広域的な誘客プロモーションを実施 負担先:(一社)中央日本総合観光機構、(一社)関東観光広域連携事業推進協議会など	
3	訴求力の高い体験型観光コンテンツの造成	負担金	(一社)長野県観光機構が中心となり、アドベンチャーツーリズム(AT)基準に基づくガイドの養成、AT商品の造成及び販売を実施 負担先:(一社)長野県観光機構	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	インバウンド支援センター設置事業	23,447 千円	13,921 千円	要求 17,074 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	二次交通の利便性向上	委託	観光バス路線の経路検索サービスの充実を図るため、事業者が実施するデータ整備(バス停の位置情報、時刻表の入力等)を支援	
2	(一社)長野県観光機構内にインバウンド支援センターを設置	負担金	長野県公式観光サイト「Go NAGANO」による情報発信などを実施 負担先:(一社)長野県観光機構	
3	受入環境整備のための取組	負担金	コミュニケーション問題解決のための「NAGANO多言語コールセンター」の運営や、受入環境整備に資するセミナーなどを実施 負担先:(一社)長野県観光機構	